



# 改めて地方市場の重要性に注目を！

今年度最初の「深読み」に取り上げたいのは訪日需要がこれまで大きく成長した中で今後の海外旅行需要をどう展望するのか、というテーマです。2013年以降、3年連続して前年を下回った海外旅行者数ですが、2016年は1月以降3カ月連続で増加しました。単月旅行者数が2カ月以上連続して増えるのは2012年以來のことです。円安のレベルがやや弱まり燃油サーチャージも下がっていることなどが主な要因と考えられ、今の状況が続けば2016年は久々に旅行者数がリバウンドする年となりそうです。

その一方で少し先に目を転じると、徐々に加速していく人口減など海旅需要にマイナスの材料が増えてきていることに気がかされます。3大都市圏とそれ以外の地方市場のギャップが徐々に拡大している点もそのひとつです。過去最高の旅行者数を記録した2012年とその前のピークであった2000年の市場を比較した図表1と図表2は両年の市場の違いを端的に示しています。ポイントには人口の3大都市圏への集中が進んでいること、及び3大都市圏と地方市場の出国率の格差が広がっていることです。この結果、2012年の旅行需要は2000年に比べ3大都市圏の需要により大きく依存したものとりました。

この変化がなぜ将来の需要にマイナスに働くのかは、20XX年の旅行者数が2012年を上回るためにどのような条件が必要かを考えて見ると分かります。20XX年に人口減少が12年より進んでいることは避けられません。人口減は地方市場で先行しており、地方市場の旅行者数を反転させることは難しいと仮定すると、XX年の旅行者数が12年を上回るには、これらを補って余りあるほど、3大都市圏の出国率が上昇する必要があります。人口減が止まらないため20XX年に過去最高を更新するために3大都市圏がクリアしなくてはならないバーは年を追って上がっていくこととなります。

次に地方市場の旅行者数を反転させるのがなぜ難しいのかについて、00年と12年における性年代別の出国率を3大都市圏と地方市場で比較した図表3、図表4で解説します。これらの図表のポイントは単純にいうと、市場の高齢化による海旅需要への影響が3大都市圏と地方市場で大きく異なつた、という部分にあります。ここでいう市場の高齢化とはシニア層だけでなく、00年から12年の間に市場の参加者全員が12歳加齢したことを指すとご理解ください。3大都市圏では40代前後から上の出国率が上昇しました(図表3)。海旅経験の豊富な世代が加齢して出国率を上昇させたことが大きな要因と考えられます。一方、地方市場では出国率カーブは上昇していません(図表4)。その理由は地方市場における海旅経験値の高い旅行者の数が3大都市圏に比べて大幅に少ないことにあると推測されます(注)。

分かります。もちろん3大都市圏の需要が成長していくことが前提ですが、旅行者総数を増やすには地方市場の動向は非常に重要と考えられるのです。

ここで改めて注目したいのがこの数年における訪日需要の急伸とこれに伴う国際線航空座席数の増加です。近隣アジア各国に大きく偏っていますが、地方空港発着を含めて提供座席数は大きく伸びています。この状況を地方発のアウトバウンドの需要開発に活用できないものなのでしょうか。取りつきは利の薄い商売となりそうですが業界にとつては市場の裾野の拡大も重要です。訪日需要の拡大は海旅需要の将来にとって必ずしもマイナスとは限りません。ツーウェイでの交流を実現させて行く上で業界としての行動が求められているように感じます。

(注)この点に関連する記事を2013年6月号に執筆してお

黒須宏志  
旅行市場動向のリーサーチャーとして講演・寄稿などで活躍中。(株)JTB総研 執行役員・主席  
研究員。1964年生まれ。

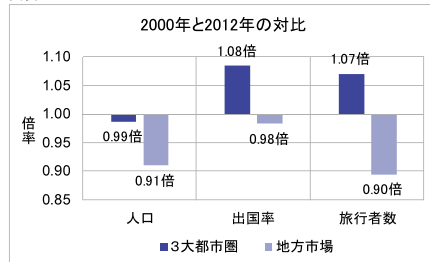
ります。次のURLよりダウンロードいただけます。[https://www.jatana-net.or.jp/jatacom/1306/pdf/201306\\_09.pdf](https://www.jatana-net.or.jp/jatacom/1306/pdf/201306_09.pdf)

図表1

		人口	出国率	旅行者数
3大都市圏	2000年	6,489万人	19.0%	1,234万人
	2012年	6,405万人	20.6%	1,321万人
	対比	0.99倍	1.08倍	1.07倍
地方市場	2000年	5,304万人	9.3%	492万人
	2012年	4,828万人	9.1%	440万人
	対比	0.91倍	0.98倍	0.90倍

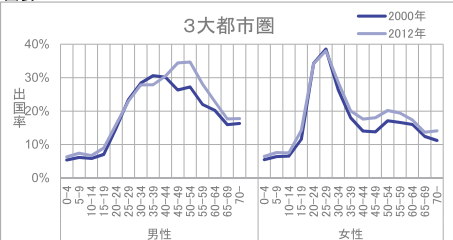
(注)3大都市圏とは南関東(1都3県)、東海4県、近畿(2府4県)、地方市場とはそれ以外の地域  
(注)出国率=旅行者数÷人口(74歳以下の人口)  
(注)旅行者数は「外国」居住者を除く  
データ:総務省、法務省

図表2



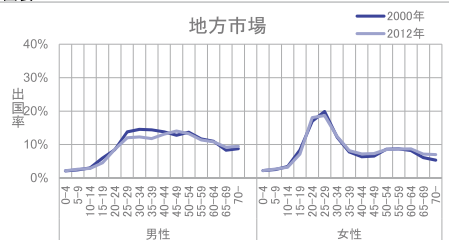
(注)大都市圏と地方市場の地域区分等の詳細は図表1の注を参照  
データ:総務省、法務省

図表3



(注)大都市圏と地方市場の地域区分等の詳細は図表1の注を参照  
データ:総務省、法務省

図表4



(注)大都市圏と地方市場の地域区分等の詳細は図表1の注を参照  
データ:総務省、法務省